

2022年 NO  
7月13日号 4号

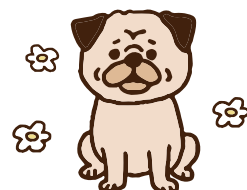
じんけんにゃんだふる



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

# OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習



じんけんわんだふる

7月13日のじんけん楽習塾は『マジョリティ特権って何?』がテーマです。講師は出口真紀子さん(上智大学)です。今回は会場でZoom視聴しながら、一緒に学習します。

## オンライン参加のみなさんへ

- 研修参加の際は、必ず映像はオンの状態で願います。  
(休憩中はオフでも大丈夫です。)
- グループワークもあります。
- 申し込みの時の名前で参加ください。
- 研修参加の際は、こちらが指示するまでマイクはミュートでの参加をお願いします。
- ZOOMに入室できない等でお困りの時は八尾市人権協会 072-924-9853 にお電話ください。
- ZOOMに入室できた後はなるべく、ホスト(事務局)あてチャット機能をお使いください。



●「いろんな社会があればいい」というところが納得できました。

山奥ニートになるまでの社会の生きづらさが石井さんだけでなく、たくさんの方が感じているかもしれません。「~できること」だけが、価値観ではなく、やりたいことをする生き方が選択できる社会をつくっていかたいなと思いました。たくさんあるなかの、1つの生き方をおしえて頂いたことで、私自身の社会が広がりました。

●祖母の家が山奥とまでいかないが、なかなかの田舎にあったので、長期滞在の時は食料や日用品の調達や困りごとを何とかクリアするみたいな達成感があったりしたことは思い出しました。しあわせの価値観は人それぞれでいいんだなあーと思いました。いまが大切なことも。

●時間があると心によゆうができると話されていた。今の私は、時間があると不安かもしれない。でも、地域でも学校でも福祉でも、もっと人的支援がととのえば、1人1人の時間もよゆうができ、他人への関わりにもよゆうがうまれると思う。やっぱり「人」への支援が大事だ!!

●「自分が何もできてないことを知ってるから、人にアテにされない、だから、自由で毎日が楽しい」ということでしたが、自分的には人にアテにされない

## みんなのふりかえり 4回目 6/29

「山奥ニート」やってます。  
石井あらたさん(山奥ニート)



いうのは悲しく耐えきれないことだと思いましたが、グループでの話や質問への講師の答えを聞いて、自分と合う社会を選んで生きていく力を自分の子どもたちにはもってもらえるようになってほしいと思いました。

●社会でしんどくなった人が、本来の自分の力を取り戻すためには、たくさんの時間と、社会と切り離された場所が必要なんだなあ実感しました。社会の中で生活しながら休むって難しい。生きるための選択肢が増えました。

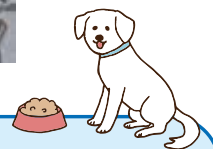
●生きるためだけに最低のお金だけを得る、自由を選択することの大変さもひきうける、こっちの世界のあたりまえや常識とちがう価値観で生きる、地域の高齢者から頼られる存在になる、すてきな生き方だなと思った。暮らしてみたいかもと思った。(A)

●私は子どもの頃から、生きていくためには働かなければならないと、周囲の人が当然のこととして言う言葉に違和感を感じてきました。そんな世の中なら、私は生きること自体に向いていないと思ってきました。生産性を重んじる社会の中で、ニートやひきこもりの人だけではなく、障害を持つ人などしんどい立場の多くの人たちにとっても、生きづらい社会のしくみがすでにできてしまっていて、うまくいかなかったら、自己責任だと言われます。それで、ますますしんどい思いをさせられている人は多いはずで、それ以外の選択肢がない今、石井さんの活動に、未来の「新しい生活様式」のためのヒントを感じました。だからといって、今の生活を捨てきれないのも本音ですが。石井さんの穏やかな笑顔や語り口

から、幸せに生きるためのもう一つの可能性が自然に伝わってきました。(立石)

●今の社会の人間関係や仕事の在り方などは、ある意味、命や心を削るようなことが多いのかもしれない。あるようで、ないような「普通」や「標準」にいつも比較される。そのうち自分も他人と比較してしまっている。そんな自分を思いながら、お話を聞いていました。「何もしない」自分が不安で不安でたまらないということにも気づきました。「何もしない」「何もできない」自分もいとおしいと思えたらいいな。

●山奥ニートの生活が、山奥だけじゃなくて、私のまわりの地域社会にも、自分らしくいれる居場所があればいいなと思いました。競争社会ではなくて、多様な生き方を認められる、誰もが認められる地域社会であれば戦争は起こらないのになあ....



## 連絡

毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYAOYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけてください。